



Ultra SCSI (FAST-20)

PCI SCSI Board

REX-PCI 30L

DOS/V

トラブルシューティング
マニュアル



2002年9月

第1.0版



ラトックシステム株式会社

<http://www.ratocsystems.com>

目次

1 . 起動ディスク(DOS)での使用について	1
Windows 98 起動ディスクの編集	1
Windows 95 起動ディスクの編集	2
Drive Image 起動ディスクの編集	3
SCSI CD-ROM をアクセスする	4
SCSI DVD-RAM をアクセスする.....	4
ASP3050.SYS のパラメタ	5
REXCD.SYS のパラメタ	5
REXDISK.SYS のパラメタ	7
2 . DOS/Windows 3.1 で使用する	9
CONFIG.SYS の書き換え	9
AUTOEXEC.BAT の書き換え.....	9
Windows 3.1 用 WINASPI ドライバの組み込み方法	10
DOS 用 SCSI ユーティリティについて	10
SSC.EXE - SCSI 機器接続確認コマンド.....	10
REXFMT.EXE - ディスク・フォーマット・コマンド	11
3.トラブルシューティング	13
オペレーティングシステム共通トラブル	13
DOS/V にて IDE の CD-ROM が使えない場合	13
SCSI 機器を 3 台以上接続すると不安定になる場合.....	13
Ultra SCSI ハードディスクでアクセスが遅い場合	13
FUJITSU MO(M2512A,M2513A) を使用の場合.....	14
UltraSCSI 対応機器が SCSI-2 と表示される場合.....	14
Windows Me/98/95 のトラブル	15
Windows Me/98/95 でドライバ更新する場合.....	15
Windows Me でドライバ更新する場合	16
Windows 98 でドライバ更新する場合	19
Windows 95 でドライバ更新する場合	22
WindowsMe/98/95 ドライバを削除する場合	25
不明なデバイスが検出されると表示の場合.....	27
データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりする場合.....	27
REX-PCI30L 以外の名称でドライバ登録される場合 (PC98-NX)	27
ドライブが割り当たらない場合.....	28
ドライバのインストール中で完了を押してしまった場合	28

PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合	28
その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合	29
その他のデバイスに PCI Brige として登録される場合	29
ドライブレターがドライブ Z まですべて HD になる場合	29
全体的なシステムのパフォーマンスが低下しますと表示される場合	30
SCSI 機器接続確認で準備ができていませんと表示される	30
フォーマットユーティリティで CD-R/RW,DVD が 認識されない.....	30
Windows 98 インストール中にハングアップする場合	30
DOS/Windows 3.1 のトラブル.....	31
DOS/Windows 3.1 で PD、Changer の一部が認識できない場合.....	31
640MB の MO アクセスで EXTEND ERROR となる場合	31
WindowsXP/2000 トラブルシューティング	32
WindowsXP/2000 でドライバ更新する場合	32
Windows XP でドライバ更新する場合	33
Windows 2000 でドライバ更新する場合	36
WindowsXP/2000 ドライバを削除する場合	40
Device のプロパティ - SCSI のプロパティでの設定がきかない	41
スキャナを検出できない場合	41
MO/PD でフォーマットが完了しない場合	41
Windows NT のトラブル	42
MO/PD アクセスでパラメタに誤りがありますの場合	42
スキャナのユーティリティがスキャナを見つけない場合	42
ドライブ名が割り当たらない場合	42

1. 起動ディスク (DOS) での使用について

1 . 起動ディスク(DOS)での使用について

この章では、Windows 98 起動ディスク(フロッピーディスク)または Windows 95 起動ディスク(フロッピーディスク)よりシステム起動して REX-PCI30L に接続した SCSI CD-ROM をアクセスする方法について説明します。

REX-PCI30L 用のドライバは、CD-ROM により提供されています。
まず、CD-ROM が利用可能な環境で起動ディスクの作成および編集を行います。
その後、目的とする環境で作成した起動ディスクでシステムを起動することにより SCSI 機器へのアクセスが可能となります。

Windows 98 起動ディスクの編集

Windows 98 の起動ディスクより、REX-PCI30L に接続してある SCSI CD-ROM より Windows 98 をインストールしたい場合、次の手順で行います。

Windows 98 の起動ディスクの初期メニューで”Start computer with CD-ROM support”が選択できますが、そのままでは SCSI CD-ROM をアクセスできません。この CD-ROM は IDE の CD-ROM を示します。SCSI CD-ROM からのインストールの場合以下の手順で編集が必要です。

CD-ROM が利用可能な環境で以下の作業を行います。

1. Windows 98 の起動ディスク(1/2)の CONFIG.SYS を編集してください。

変更前:

変更後:

[CD]

```
device=himem.sys /testmem:off
device=oakcdrom.sys /D:miscd001
device=btldosm.sys           - > 行削除
device=flashpt.sys          - > 行削除
device=btcdrom.sys /D:miscd001 - > 行削除
device=aspi2dos.sys         - > 行削除
device=aspi8dos.sys        - > 行削除
device=aspi4dos.sys        - > device=ASP3050.SYS /V
device=aspi8u2.sys         - > 行削除
device=aspicd.sys /D:miscd001 - > device=REXCD.SYS /D:miscd001
```

2. Windows 98 の起動ディスク(1/2)の aspi2dos.sys, aspi8dos.sys, aspi4dos.sys, aspi8u2.sys を削除します。
3. ASP3050.SYS, REXCD.SYS を REX-PCI30L の Setup CD-ROM の DOS ディレクトリより Windows 98 の起動ディスク(1/2)にコピーします。

以上で起動ディスクが作成されました。目的とする環境へ移動し以下の作業を行います。

Windows 98 の起動ディスク(1/2)よりシステム起動し、Start computer with CD-ROM support を選択します。

以降、SCSI CD-ROM が割り当てられますので、そこから SETUP を行います。

1. 起動ディスク (DOS) での使用について

Windows 95 起動ディスクの編集

Windows 95 の起動ディスクより、REX-PCI30L に接続してある SCSI CD-ROM より Windows 95 をインストールしたい場合、次の手順で行います。

Windows 95 の起動ディスクのままでは、SCSI CD-ROM をアクセスできません。

CD-ROM が利用可能な環境で以下の作業を行います。

1. Windows 95 の起動ディスクの CONFIG.SYS を編集してください。

変更前:

```
DEVICE=HIMEM.SYS
BUFFERS=20
FILES=60
DEVICE=BILING.SYS
DEVICE=JFONT.SYS /MSG=OFF
DEVICE=JDISP.SYS /HS=LC
DEVICE=JKEYB.SYS
```

変更後:

```
          挿入    -> DEVICE=ASP3050.SYS  /V
          挿入    -> DEVICE=REXCD.SYS  /D:OEMCD001
REM DEVICE=SAMPLE.SYS /D:OEMCD001
LASTDRIVE=Z
```

2. Windows 95 の起動ディスクの AUTOEXEC.BAT に次の記述があることを確認してください。

```
@echo off
```

```
PROMPT $P$G
```

```
MSCDEX.EXE /D:OEMCD001    (この記述があることを確認)
```

3. Windows 95 の起動ディスクの SAMPLE.SYS を削除します。
4. ASP3050.SYS, REXCD.SYS を REX-PCI30L の Setup CD-ROM の DOS ディレクトリより Windows 95 の起動ディスクにコピーします。

以上で起動ディスクが作成されました。目的とする環境へ移動し以下の作業を Windows 95 の起動ディスクよりシステム起動します。

以降、SCSI CD-ROM が割り当てられますので、そこから SETUP を行います。

1. 起動ディスク (DOS) での使用について

Drive Image 起動ディスクの編集

Drive Image にて使用する MO (光磁気ディスク) 等を起動ディスクから認識できるようにします。

ドライブイメージソフトウェアの起動ディスク(1/2)の CONFIG.SYS を編集してください。CONFIG.SYS の内容は次のようになっています。追加部を書き加えます。

```
LASTDRIVE=Z
REM Put Network or CD-ROM Drivers here.
DEVICE=ASP3050.SYS /V (ASPI Manager) 追加
DEVICE=REXDISK.SYS /E /REMOVABLE (DISK ドライバ) 追加
```

ASP3050.SYS、REXDISK.SYS は、REX-PCI30L の Setup CD-ROM の DOS ディレクトリよりコピーしてください。

REXDISK.SYS が実行されると、MO / ハードディスク等にドライブ名を割り当てます。ドライブイメージのリストア時に、このドライブ名を指定します。

また、MO 等リムーバブル等へバックアップする場合は、REXDISK.SYS 行に /REMOVABLE オプションを追加してください。

Windows 98/95 の Drive Image アイコン起動で、MO 等を認識させるには、以下の場所にある CONFIG.SYS を上記のように修正する必要があります。

[スタート]より右クリックし[開く]を選択し Drive Image のアイコンのプロパティを表示します。

プログラムの詳細設定

PIF ファイル名: C:\WINDOWS\スタート\1*プログ\1*POWERQ\1*DF

MS-DOS プログラムに Windows を検出させない(B)

必要に応じて MS-DOS モードを実行(S)

MS-DOS モード(M)

MS-DOS モード実行前の警告(W)

現在の MS-DOS 設定を使う(U)

新しい MS-DOS 設定を指定する(S)

MS-DOS モード用 CONFIG.SYS ファイル(N):

```
Device=C:\WINDOWS\Himem.Sys
Device=C:\PCIB0\ASP3050.SYS
Device=C:\PCIB0\REXDISK.SYS /E /REMOVABLE
```

MS-DOS モード用 AUTOEXEC.BAT ファイル(A):

```
SET TMP=C:\WINDOWS\TEMP
SET TEMP=C:\WINDOWS\TEMP
SET PROMPT=$p$g
```

設定(F)...

OK キャンセル

Drive Image 1.0のプロパティ

全般 プログラム フォント 印刷 スクリーン その他

DriveImage by PowerQuest

コマンドライン(L): PQDI.BAT

作業ディレクトリ(W): C:\PROGRAM\1*POWERQ\1*DRIVE\1

バッチ ファイル(B):

アクセラ キー(K): なし

実行時の大きさ(S):

プログラム終了時にウィンドウを閉じる(O)

このプログラムは MS-DOS モードで実行するように設定されています。
[詳細設定] を押すと、設定オプションを表示します。

詳細設定(D)... アイコンの変更(C)...

OK キャンセル 適用(A)

詳細設定を押すと左の画面が出てきますので、新しい MS-DOS 用設定を指定するを選択し MS-DOS モード用 CONFIG.SYS ファイルを編集します。

1. 起動ディスク (DOS) での使用について

例のように追加します。

```
DEVICE=ASP3050.SYS /V (ASPI Manager) 追加  
DEVICE=REXDISK.SYS /E /REMOVABLE (DISK ドライバ) 追加
```

PCI30 ディレクトリを作成し、ASP3050.SYS と REXDISK.SYS をコピーします。Drive Image アイコンをクリックするだけで、Drive Image から REXDISK.SYS の割り当てたドライブ名が使用できます。

SCSI CD-ROM をアクセスする

CONFIG.SYS に ASPI マネージャの登録を行います。

CONFIG.SYS の最終行に、以下の記述を追加します。

```
DEVICE=ASP3050.SYS /V (ASPI Manager)  
DEVICE=REXCD.SYS /D:PCMCIA CD (CD-ROM ドライバ)
```

の 2 行を追加します。

AUTOEXEC.BAT の最終行に、以下の記述を追加します。

```
A:¥DOS¥MSCDEX /D:PCMCIA CD (CD-ROM Extension)
```

の 1 行を追加します。ASP3050.SYS、REXCD.SYS は、REX-PCI30L の Setup CD-ROM の DOS ディレクトリよりコピーしてください。MSCDEX は、MS-DOS 6.2 以降の OS よりコピーしてください。REXCD.SYS が実行されると、デバイス名 PCMCIA CD を登録します。MSCDEX.EXE が実行されると、デバイス名 PCMCIA CD を探しそのドライブにドライブ名を割り当てます。AUTOEXEC.BAT の中に既に MSCDEX の記述がある場合がありますのでそこは削除します。DVD の CD-ROM のみをアクセスする場合も上記の方法で使用可能です。

SCSI DVD-RAM をアクセスする

Panasonic DVD LF-100J においては MS-DOS をサポートしてありますので以下の方法で使用できます。CONFIG.SYS に ASPI マネージャの登録を行います。CONFIG.SYS の最終行に、以下の記述を追加します。

```
DEVICE=ASP3050.SYS /V (ASPI Manager)  
DEVICE=DVDHOOK.EXE (DVD Emulation ドライバ)  
DEVICE=MSDRVR.SYS -ot3 -ob -th- -L -o2k (DISK ドライバ)  
DEVICE=MCDPD.SYS /D:OEMCD001 /T3 (PD/CD ドライバ)
```

の 4 行を追加します。ASP3050.SYS は、REX-PCI30L の Setup CD-ROM の DOS ディレクトリよりコピーしてください。

DVDHOOK.EXE、MSDRVR.SYS、MCDPD.SYS は、DVD に添付 (CD-ROM) の DOS 用ドライバからコピーしてください。

MSDRVR.SYS が実行されると、DVD-RAM にドライブ名を割り当てます。

1. 起動ディスク (DOS) での使用について

ASP3050.SYS のパラメタ

REX-PCI30 SCSIボードのASPIマネージャです。ASP3050.SYSの書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>%ASP3050.SYS [/L] [/P] [/V]
```

オプション

- /L LUN(Logical Unit NO)の取り扱いを指定します。初期値は LUN=0 のみサーチします。PD、CD-ROM Changer を使用する場合、/L オプションを付加します。
- /P このオプションを付加すると ASP3050.SYS を実行後一時停止し実行結果の表示を確認できます。初期値は停止しません。
- /V このオプションを付加すると実行時、各種情報の表示を行います。表示項目として I/O ポートアドレス、IRQ、接続機器情報があります。

実行時の表示例

```
REX Universal ASPI Manager x.xx  
Copyright (C) 1994-1997 Advanced System Products Inc. / RATOC Systems Inc.  
ASPI HOST Adapter #0  
SCSI ID #4 TYPE 5 : MATSHITA PD-2 LF-D100 A106
```

REXCD.SYS のパラメタ

ASPI マネージャ対応のDOS上で動作するCD-ROMデバイスドライバです。

REXCD.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>%REXCD.SYS [/D:<デバイス名>] [/E] [/U:1]  
[/ScanID:id+id+...] [/NoScanID:id+id+...] [/N:1] [/HA:0]
```

オプション

- /D:<デバイス名>
この CD-ROM デバイスに付けるデバイス名を指定します。このデバイス名が「MSCDEX.EXE」の「/D:」オプションに指定するデバイス名になります。
- /E ドライバの表示メッセージを英語にします。
英語 DOS 環境で使用する場合に指定します。
- /U:1 接続する CD-ROM ドライブが1台だけの場合の指定です。
CD-ROM ドライブが1台だけ接続されていることを前提として動作する CD-ROM ソフト用のオプションです。接続する CD-ROM ドライブが1台だけの場合は、必ずこのオプションを指定してください。
このオプションを省略した場合、SCSI-ID 番号「0」から「6」を順に検索して接続されている CD-ROM ドライブをすべて登録します。

1. 起動ディスク (DOS) での使用について

/ScanID:id+id+....

REXCD.SYSが対象とするCD-ROMドライブのSCSI-ID番号を指定します。REXCD.SYSは通常SCSI-ID 0~6 を順番スキャンして接続されているCD-ROMドライブを検索します。

しかし、このオプションを指定することにより特定のSCSI-IDのみ検索させることが可能となり、ドライブの起動時間を短縮できます。

たとえば、SCSI-ID 0と1のみを対象とする場合、「/ScanID:0+1」と記述すれば、2~6のSCSI機器については検索しません。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対に REXCD.SYS の対象外とするSCSI-ID 番号を指定します。

たとえば、SCSI-ID 5 と 6 のみを対象外とする場合、「/NoScanID:5+6」と記述すれば、5~6のSCSI機器については検索しません。

/N:1 接続するCD-ROMドライブに対してロジカルユニットの検索を行いません。

「REXCD.SYS」は起動時に、ロジカルユニット番号「0」から「7」を順に検索して接続されているCD-ROMドライブの論理ドライブ数を調べます。ところが、旧型のCD-ROMドライブでロジカルユニット番号「0」以外でアクセスするとドライブ側が異常になる場合があります。このような場合には、必ずこのオプションを指定してください。また、CD-Changer等ロジカルユニットの指定が必要なドライブの場合にはこのオプションは指定しないでください。

/HA:0 対象とするホストアダプタの番号を指定します。

省略した場合、0 (1枚目)が仮定されます。

/NoPreFetch

ドライブに対してSCSIのPreFetchコマンドを発行しません。

TEAC製CD-RドライブCD-R824K、CD-R56Sを接続する場合、この指定が必要です。

実行時の表示例

```
ASPI マネージャ対応 CD-ROM デバイスドライバ
  REX-CD Ver x.xx yymmdd
  RATOC System, inc.

CD-ROM SCSI_ID: 6 : MATSHITA PD-2 LF-D100
デバイス名 : PCMCIA CD
```

1. 起動ディスク (DOS) での使用について

REXDISK.SYS のパラメタ

ASPIマネージャ対応のDOS上で動作するハードディスク/光磁気ディスク用デバイスドライバです。

REXDISK.SYSが対応しているディスクフォーマットは、FAT12およびFAT16です。FAT32には対応していませんのでご注意ください。

REXDISK.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>¥REXDISK.SYS [/E] [/REMOVABLE]
[/ScanID:id+id+...] [/NoScanID:id+id+....] [/Rn1+n2+n3+....]
[/LOCK | /UNLOCK] [/A] [/DUMMY] [/HA:0]
```

オプション

/E ドライバの表示メッセージを英語にします。
英語 DOS 環境で使用する場合に指定します。

/REMOVABLE

光磁気ディスク(MO)が Windows 3.1 のファイルマネージャ等におけるドライブのアイコン表示でフロッピーディスクと同様の取り外し可能なメディアのアイコンで表示されるようにします。

光磁気ディスク(MO)を「フロッピーディスクのフォーマット」で初期化することはできません。

/ScanID:id+id+....

REXDISK.SYS が対象とするハードディスク/光磁気ディスクドライブの SCSI-ID 番号を指定します。

REXDISK.SYS は通常 SCSI-ID 0~6 を順番スキャンして接続されているハードディスク/光磁気ディスクドライブを検索します。

しかし、このオプションを指定することにより特定の SCSI-ID のみ検索させることが可能となり、ドライブの起動時間を短縮できます。

たとえば、SCSI-ID 0 と 1 のみを対象とする場合、「/ScanID:0+1」と記述すれば、2~6 の SCSI 機器については検索しません。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対に REXDISK.SYS の対象外とする SCSI-ID 番号を指定します。

たとえば、SCSI-ID 5 と 6 のみを対象外とする場合、「/NoScanID:5+6」と記述すれば、5~6 の SCSI 機器については検索しません。

/Rn1+n2+n3+....

光磁気ディスク(MO)等の取り外し可能なメディア用の予約パーティション数を指定します。SCSI-ID 番号の若い順に指定します。

また、「0」を指定した場合は、ドライブ起動時の状態によって割り当てるパーティション数が決定します。

1. 起動ディスク (DOS) での使用について

メディアが挿入されている	メディアに存在する全パーティション数
メディアが挿入されていない	1パーティションのみ

この記述を省略すると「0」を指定した場合と同じ意味になります。

/LOCK

/UNLOCK

光磁気ディスク(MO)等の取り外し可能なメディア用のドアのロック/アンロックを指定します。

/LOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押してもメディアは排出されません。
/UNLOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押すとメディアは排出されます。

この記述を省略すると「/UNLOCK」を指定した場合と同じ意味になります。

/Nostart

Start Unit の SCSI コマンドを発行しない場合に指定します。

/HA:0

対象とするホストアダプタの番号を指定します。

省略した場合、0 (1枚目) が仮定されます。

- /A メディアのフォーマットが「NEC ハードディスク・フォーマット」と同等の場合に、「スリープ属性」のパーティションもドライブとして認識させる指定です。

実行時の表示例

ASPI マネージャ対応 ハードディスク・MO デバイスドライバ		
REXDISK Ver x.xx yymmdd		
Copyright(C) RATOC System, inc.		
SCSI ID	デバイスタイプ	割り当てドライブ
#1	Hard Disk	F: G:
#6	RemovableMedia(MO)	H:

640MB の MO メディアを使用する場合の注意事項

640MB の MO 等の 2K バイト/セクターのリムーバブルメディアを使用する場合で、CONFIG.SYS で SMARTDRV.EXE を組み込んでいる環境では、SMARTDRV.EXE のオプションで「一ドライブ名」指定で必ずキャッシュの対象外にしてください。

2 . DOS/Windows 3.1で使用する

DOS/Windows 3.1 のインストール手順を説明します。

ASPIマネージャ(ASP3050.SYS)をインストールします。また、ASPI対応CD-ROMドライバ、ASPI対応DISKドライバをインストールする必要があります。

インストール方法は、CONFIG.SYSの書き換えを参照してください。

CONFIG.SYS の書き換え

本製品添付の SCSI ボード用の各種ドライバを CONFIG.SYS に登録します。

例えば次のような記述を追加します。

```
[COMMON]
DEVICE=C:¥REXSCSI¥ASP3050.SYS /P /V
DEVICE=C:¥REXSCSI¥REXCD.SYS /D:MSCD001
DEVICE=C:¥REXSCSI¥REXDISK.SYS
```

ASP3050.SYS (DOS/V 用)

REX-PCI30 SCSIボードのASPIマネージャ。

REXCD.SYS

ASPI仕様のCD-ROMドライバ(ASPIモジュール)。

REXDISK.SYS

ASPI仕様のハードディスク/MO用ディスクドライバ(ASPIモジュール)。

AUTOEXEC.BAT の書き換え

SCSI CD-ROM を使用する場合は、DOS システムの CD-ROM エクステンションを AUTOEXEC.BAT に登録します。

例えば次のような記述を追加します。

```
[COMMON]
REM ----REX-PCI30----
C:¥DOS¥MSCDEX.EXE /D:MSCD001
```

2. DOS/Windows3.1 で使用する

Windows 3.1 用 WINASPI ドライバの組み込み方法

スキャナ、フィルムスキャナ、CD-R 等を使用する場合、Windows3.1 用 WINASPI が必要な場合があります。DOS 上でドライバを組み込んだ後に、以下の手順で WINASPI ドライバのインストールを行います。

1. REX-PCI30L の Setup CD-ROM の [Win31] フォルダから vaspirex.386 と winaspi.dll の 2 つのファイルを Windows システムディレクトリ (C:¥Windows¥System) にコピーします。
2. SYSTEM.INI ファイルの [386Enh] セクションに次の行を追加します。
device=vaspirex.386
3. システム再起動します。

DOS 用 SCSI ユーティリティについて

添付 Setup CD-ROM に含まれる DOS 用ユーティリティソフトウェアについて説明していきます。なお、ここでは概略のみ説明します。詳細については添付の Setup CD-ROM の以下のファイルを参照してください。

- SSC.TXT — SSC.EXE (SCSI 機器接続確認)の 使用方法
REXFMT.TXT — REXFMT.EXE (ディスクフォーマット)の 使用方法

SSC.EXE - SCSI 機器接続確認コマンド

REX-PCI30Lに接続されているSCSI機器を確認するためのコマンドです。このプログラムを実行するには、ASPIマネージャが登録されている必要があります。ID番号7まで順番にスキャンします。

書式

```
SSC [%Adapter_No] [#SCSI_ID]
```

- %Adapter_No** ホストアダプタ番号を指定します。
 この指定は、REXFMT.EXE と同様です。
- #SCSI_ID** 対象 SCSI 機器の SCSI-ID 番号を指定します。
 省略時は、ID 番号 0 から 6 まで順番にスキャンして表示します。

REXFMT.EXE - ディスク・フォーマット・コマンド

ハードディスクや光磁気ディスク(MO)、PDの論理フォーマット、パーティション設定・表示を行います。

このプログラムを実行するには、ASPIマネージャのASP3050.SYS(DOS/V)が登録されている必要があります。

DOS/VおよびPC-9821のブートディスクの作成はできません。

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] [サブコマンド]
[オプション....]
```

%Adapter_No ホストアダプタ番号を指定します。

この指定は、ATAPI仕様のCD-ROMドライブを内蔵しているパソコンでWindows 98/95のDOSプロンプトから本コマンドを使用する場合などに、REX-PCI30Lがホストアダプタ番号「0」以外で動作する場合に使用します。省略時は、「0」が選択されます。

ホストアダプタ 0 内蔵 CD-ROM (ATAPI)

ホストアダプタ 1 REX-PCI30L

#SCSI_ID 対象ドライブのSCSI-ID番号を指定します。

省略時は、最も若い番号が選択されます。

サブコマンド ディスクに対する処理を指定します。

/HD ハードディスクのフォーマット

/MO 光磁気ディスク(MO)およびPDのフォーマット

/PAT 区画(パーティション)の作成

/DEL 区画の削除

/SLEEP 区画を一時的に無効(SLEEP)にする

/ACTIVE 一時的に無効にした区画を有効(ACTIVE)にする

書式 1 - ハードディスクの初期化

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /HD:[ IBM | NEC ]
[ /INIT ] [ /VERIFY:[ ON | OFF ] ]
```

ハードディスクのフォーマットを実行します。

2. DOS/Windows3.1 で使用する

書式 2 - 光磁気ディスク (MO) の初期化

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /MO:[ FD | IBM | NEC ]  
[ /INIT ] [ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

光磁気ディスク(MO)のフォーマットを実行します。

書式 3 - 区画の確保

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /PAT[<:確保容量>] [/Lx]  
[ /LABEL: <ボリュームラベル> ]  
[ /KNAME: <区画名> ] [ /SLEEP | /ACTIVE ]  
[ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

ハードディスクに区画を確保します。

書式 4 - 区画の削除

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /DEL: <区画番号>  
[ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

ハードディスクから区画を削除します。

書式 5 - 区画属性の変更

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID]  
[ /SLEEP: <区画番号> | /ACTIVE: <区画番号> ]  
[ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

NEC HD形式でフォーマットしたメディアの区画属性を変更します。

3.トラブルシューティング

REX-PCI30L の主なトラブルシューティングについて説明します。REX-PCI30L の Setup CD-ROM の「README.TXT」ファイルに追加情報がありますのでご覧ください。また、最新の情報については、インターネットの弊社ホームページ上の FAQ(質問と回答)のコーナをご覧ください。

オペレーティングシステム共通トラブル

DOS/V にて IDE の CD-ROM が使えない場合

Q: IDE の CD-ROM が使えなくなりました。

A: 使用するパソコンによっては、セカンダリのマスタに接続してある CD-ROM が使えなくなる場合があります。この場合、セカンダリのスレーブに接続するか、プライマリのスレーブに接続を変更してください。

SCSI 機器を 3 台以上接続すると不安定になる場合

Q: SCSI 機器を 1 台ずつ接続した場合何の問題もないが、3 台以上接続するとシステムが不安定になります。

A: SCSI データが乱れているために起こります。接続しているケーブルの特性を統一してください。ハードウェア環境に問題がない場合は、SCSI コンフィギュレーションユーティリティで、全ての ID の転送速度を非同期に変えてみてください。それから少しずつ速度を上げてください。なお、SCSI ケーブル(BOX 内部を含む)の総長が 1.5 メートルを超えていない確認してください。

Ultra SCSI ハードディスクでアクセスが遅い場合

Q: Ultra SCSI ハードディスクを使用しているにも関わらず、転送速度が Fast SCSI ハードディスクを使用していた頃よりアクセス速度が遅いのですが、問題ないのでしょうか。

A: 使用するパソコンによっては、アクセスが遅くなる場合があります。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティにてコマンドキューイングのチェックを外してみてください。

3. トラブルシューティング

FUJITSU MO(M2512A,M2513A) を使用の場合

Q: FUJITSU MO を採用している古い MO ドライブを接続するとハングアップします。

A: FUJITSU MO を採用している比較的古い MO ドライブでこのような現象が発生することがあります。

ハングアップする場合、以下の手順で転送速度を 10MB/s に設定してください。

1. REX-PCI30L に接続している SCSI 機器の電源を OFF にします。
2. SCSI コンフィギュレーションを実行します。
3. FUJITSU MO に該当する SCSI-ID の「転送方式」の値を 10MB/s に変更します。
4. [OK] をクリックして書き込み後、システムを終了してパソコンの電源を切ります。
5. REX-PCI30L に SCSI 機器を接続してパソコンを起動します。

UltraSCSI 対応機器が SCSI-2 と表示される場合

Q: Ultra SCSI の機器を接続していますが、SCSI 機器接続ユーティリティ (WinSSC) で確認すると適合規格が「SCSI-3」と表示されず、「SCSI-2」と表示されます。

A: 適合規格の表示は、SCSI 機器側が返す値 (Inquiry データの ANSI バージョン) をそのまま表示しています。

UltraSCSI 対応の機器であってもその SCSI 機器側が、「SCSI-2」を返しているためこのような表示になります。

SCSI 機器側が、「SCSI-3」と返せば、「SCSI-3」と表示されます。

ほとんどの UltraSCSI ハードディスクは「SCSI-2」を返します。詳細についてはドライブメーカーへお問い合わせください。

Windows Me/98/95 のトラブル

Windows Me/98/95 でドライバ更新する場合

Q: インターネット等より、新しいドライバFDを入手したのだが組み込みには？

A: インターネットより REX-PCI30L 用ドライバをダウンロードして REX-PCI30L 用としてそのまま使用します。

ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-PCI30 Setup Disk がダウンロードできているものとして説明します。

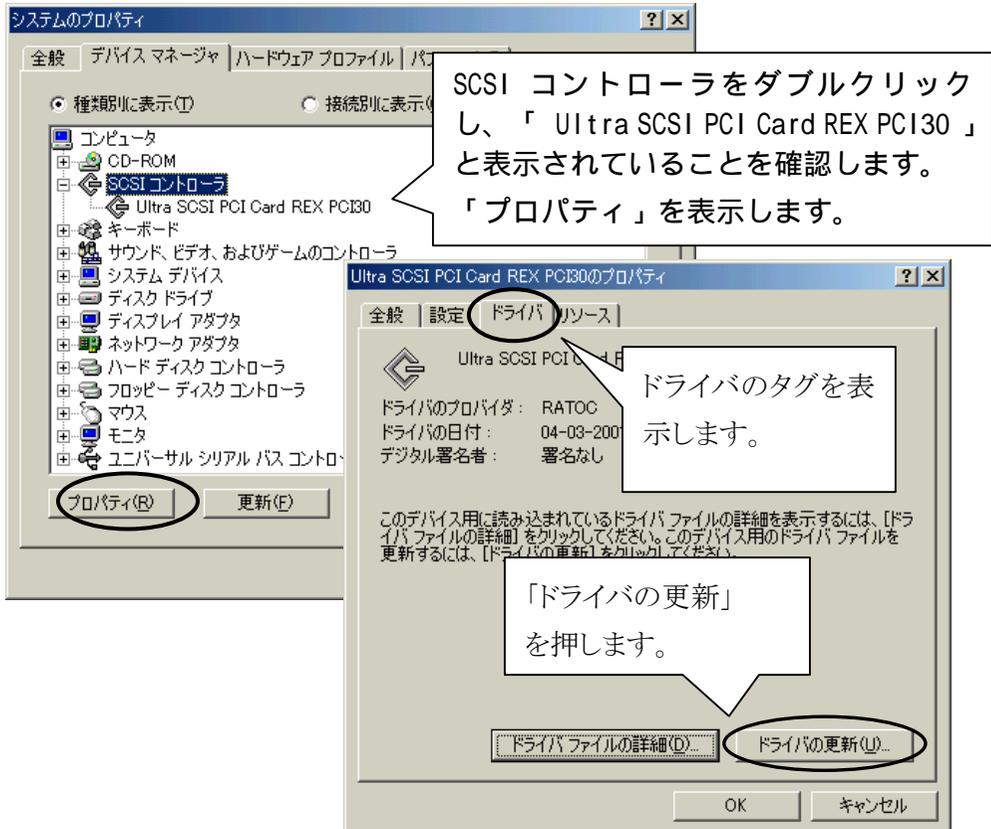
1. DOWNLOAD ディレクトリに PCI30_09.EXE (仮称) があることを確認します。
2. PCI30_09.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. PCI30_09.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
7. DOWNLOAD ディレクトリ内のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX- PCI30L Setup Disk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

新しいバージョンの Setup Disk が完成しました。続いて、次頁以降のドライバの更新を行います。

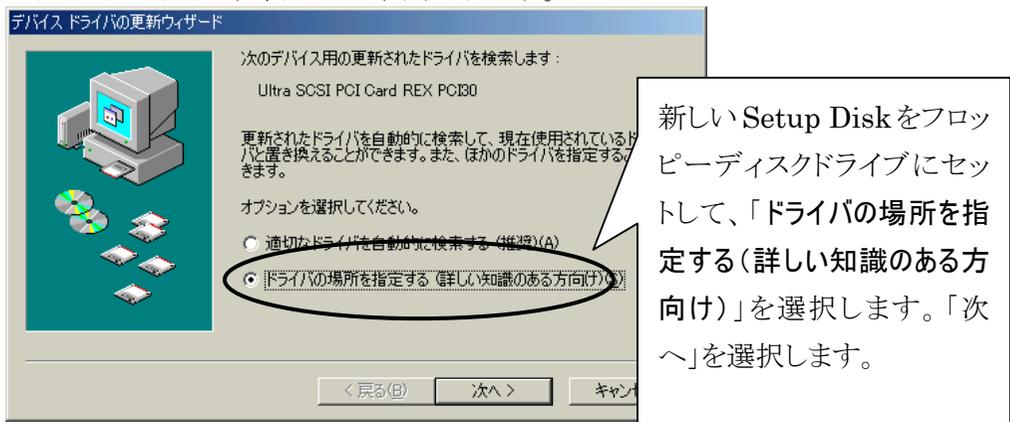
3. トラブルシューティング

Windows Me でドライバ更新する場合

1. コントロールパネルのシステムを開きます。さらにデバイスマネージャを選択し、SCSI コントローラをダブルクリックします。

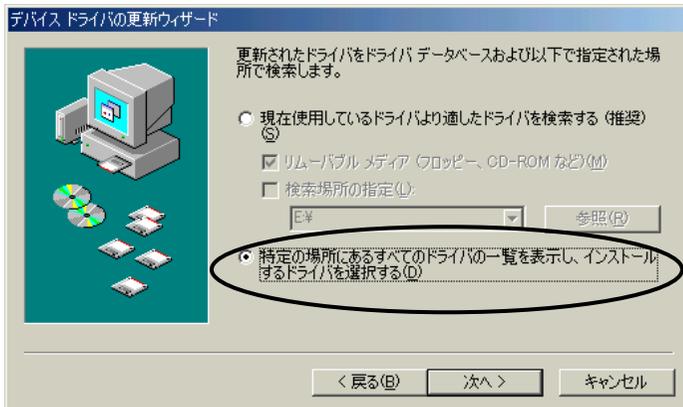


2. デバイスドライバウィザードが開始されます。

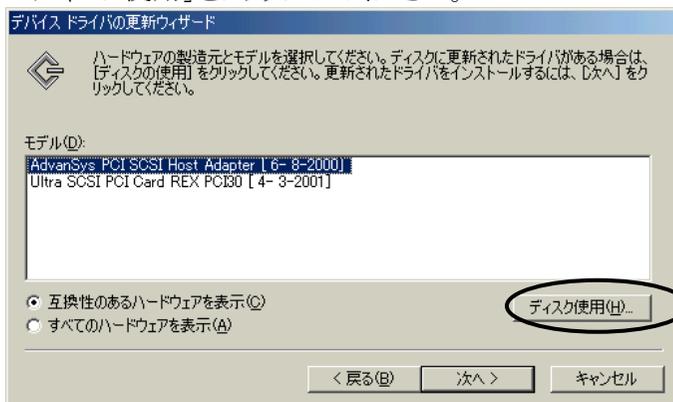


3. トラブルシューティング

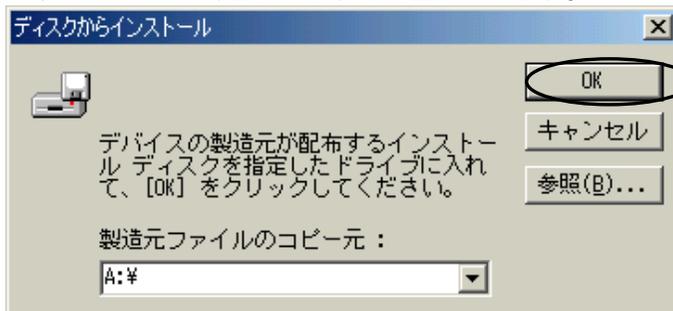
3. 「インストールするドライバを選択する」を選択します。



4. 「ディスク使用」をクリックしてください。



5. ファイルのコピー元を入力する画面になります。



フロッピーディスクドライブを選択します。

3. トラブルシューティング

6. [Ultra SCSI PCI Card REX PCI30]を選択して、「次へ」をクリックしてください。



7. 下のような警告メッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



8. ドライバのある場所が「A:\REXPCI30.INF」となっていることを確認します。

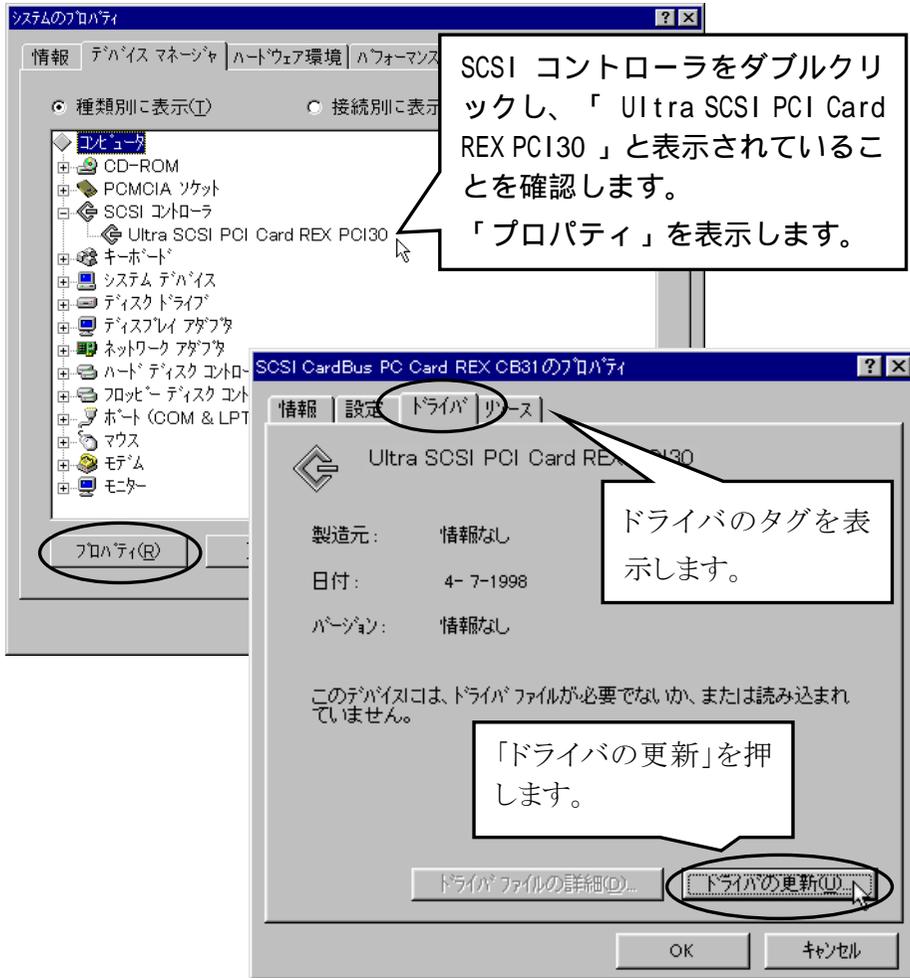


9. [完了]をクリックして、Setup Disk を抜いてください。最後に再起動してください。以上でドライバの更新作業は終了です。

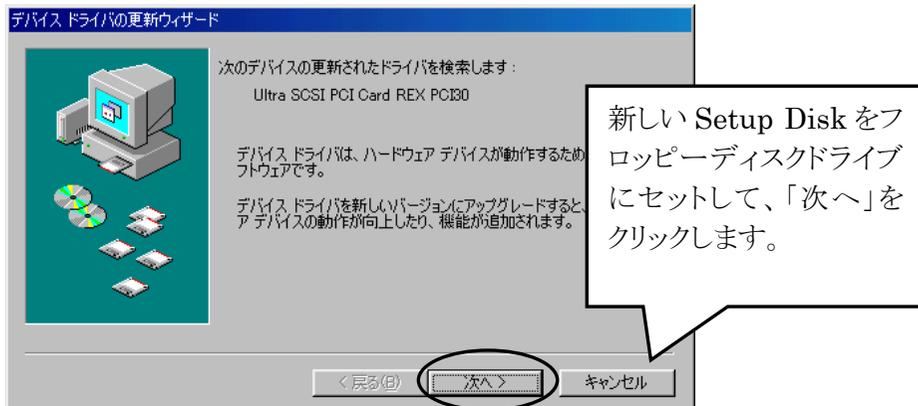


Windows 98 でドライバ更新する場合

1. コントロールパネルのシステムを開きます。さらにデバイスマネージャを選択し、SCSI コントローラをダブルクリックします。

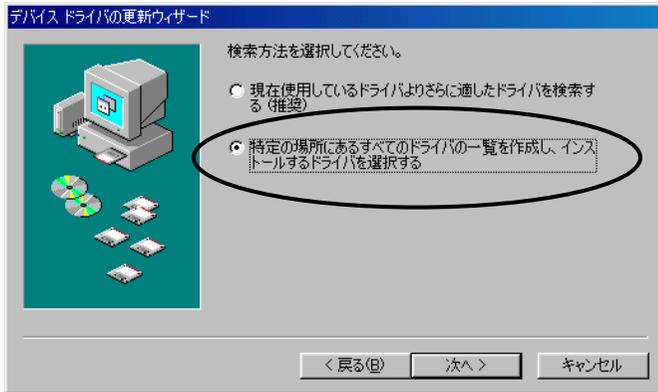


2. デバイスドライバウィザードが開始されます。

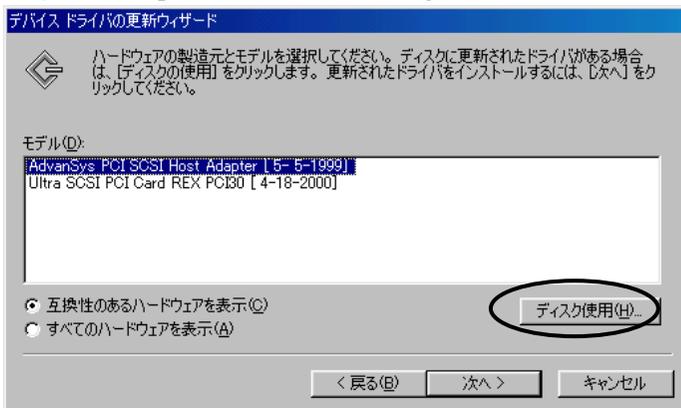


3. トラブルシューティング

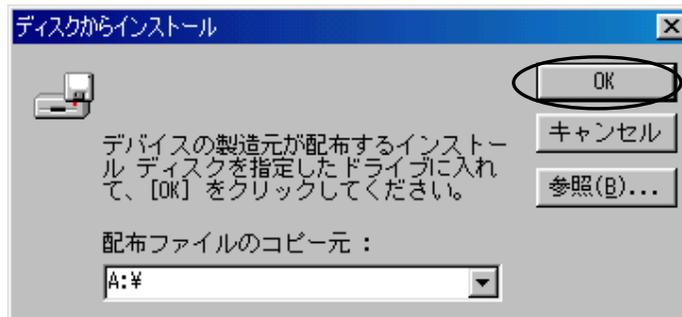
3. 「インストールするドライバを選択する」を選択します。



4. 「ディスク使用」をクリックしてください。



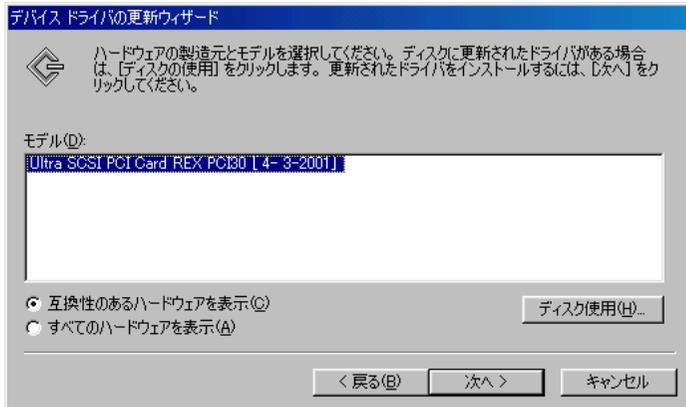
ファイルのコピー元を入力する画面になります。



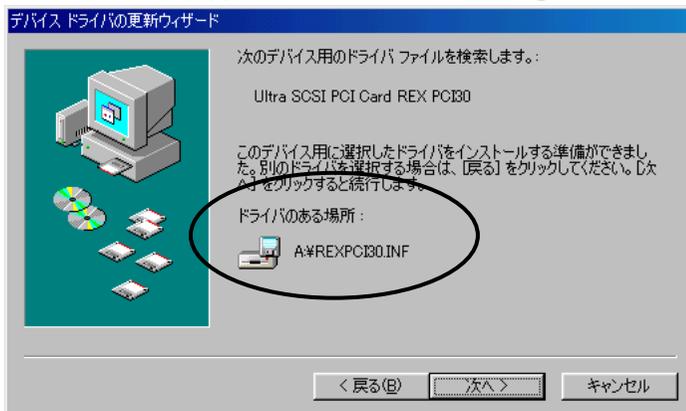
フロッピーディスクドライブを選択します。

3. トラブルシューティング

5. [Ultra SCSI PCI Card REX PCI30]を選択して、「次へ」をクリックしてください。



6. ドライバのある場所が「A:\REXPCI30.INF」となっていることを確認します。



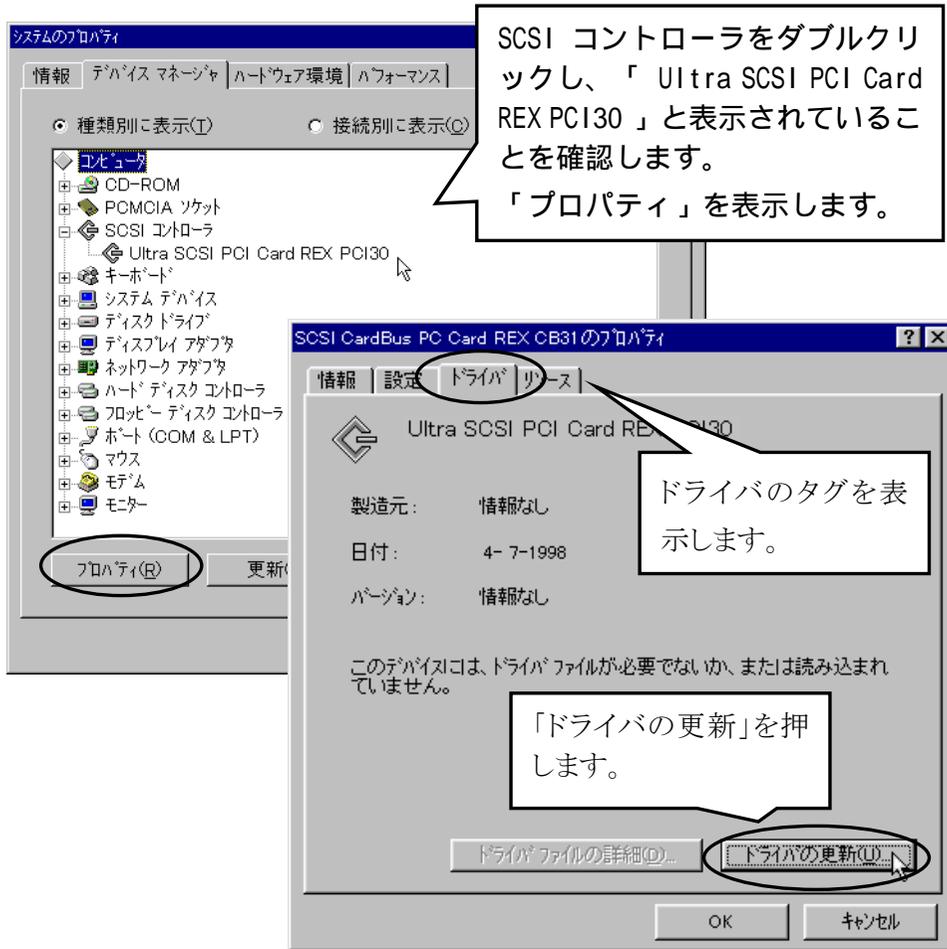
7. [完了] をクリックして、Setup Disk を抜いてください。最後に再起動してください。以上でドライバの更新作業は終了です。



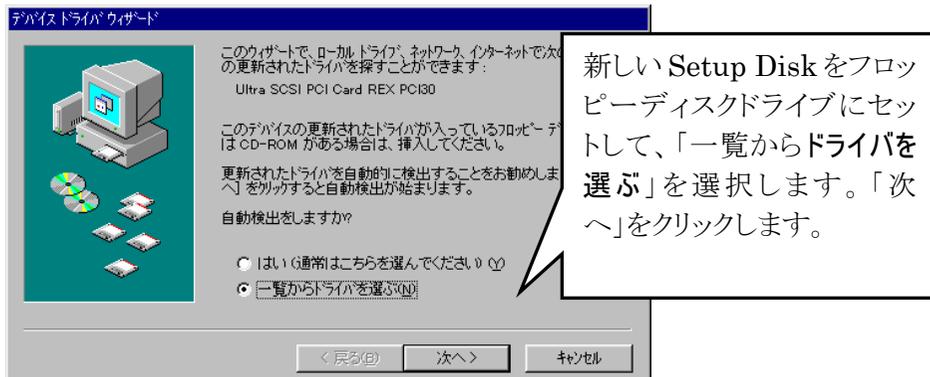
3. トラブルシューティング

Windows 95 でドライバ更新する場合

1. コントロールパネルのシステムを開きます。さらにデバイスマネージャを選択し、SCSI コントローラをダブルクリックします。

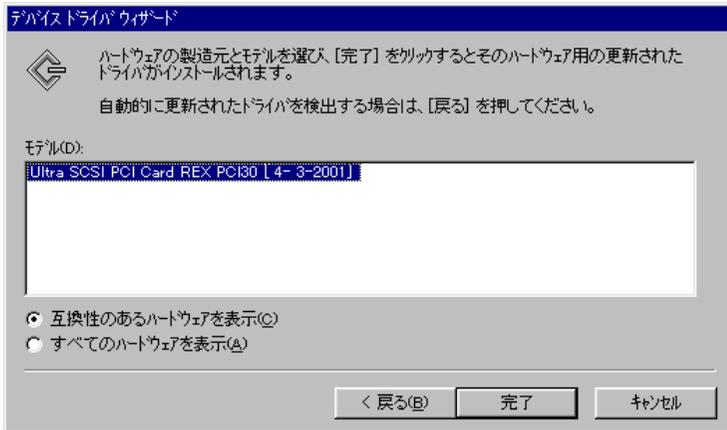


2. デバイスドライバウィザードが開始されます。



3. トラブルシューティング

3. 「完了」をクリックします。



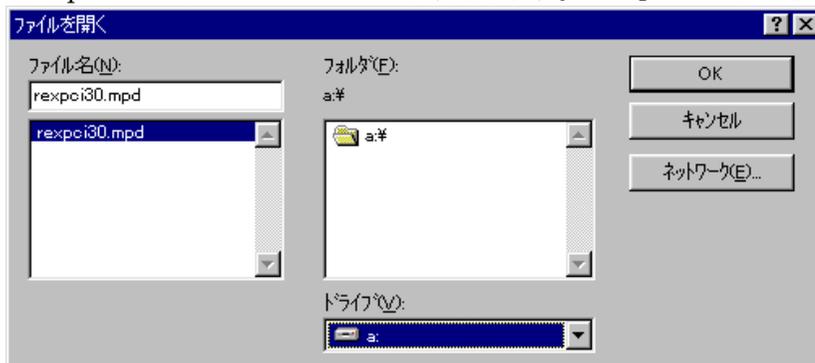
4. 下のようなメッセージが表示される場合は、「OK」をクリックしてください。



5. 「REXPCI30.mpd が見つかりませんでした。」と表示される場合は、「参照」ボタンをクリックします。



6. Setup Disk の入った A ドライブを指定します。「OK」ボタンをクリックします。



3. トラブルシューティング

7. 「OK」ボタンをクリックします。ドライバがコピーされます。



Setup Disk を抜いて、再起動してください。以上でドライバの更新作業は終了です。

WindowsMe/98/95 ドライバを削除する場合

一度登録したドライバを削除する場合は以下の手順で行います。
この項目は、ドライバを削除する場合のみ行ってください。
以下の2つの作業からなります。

- デバイスツリーからの削除
- INF ファイルの削除

デバイスツリーからの削除

1. Windows Me/98/95 上から[コントロールパネル]の[システム]を開き、[デバイス マネージャ]を選択します。
2. デバイスツリー表示から項目を削除します。「SCSI コントローラ」項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[Ultra SCSI PCI Card REX PCI30]項目を選択して[削除]ボタンをクリックします。



[OK]を選択します。

INF ファイルの削除

1. [マイコンピュータ]を開きます。

Windows ME の場合は、[ツール] - [フォルダオプション]の[表示]タブを開いて[すべてのファイルやフォルダを表示する]をチェックし、[登録されているファイルの拡張子は表示しない]のチェックを外します。

Windows 98 の場合は、[表示] - [フォルダオプション]の[表示]タブを開いて、[すべてのファイルを表示する]をチェックし、[登録されているファイルの拡張子は表示しない]のチェックを外します。

Windows 95 の場合は、[表示] - [オプション]にて[すべてのファイルを表示]をチェックし、[登録されているファイルの拡張子は表示しない]のチェックを外します。

3. トラブルシューティング

2. その後、[適用]ボタン - [OK]ボタンをクリックする。
3. [スタート]ボタンから [検索] - [ファイルやフォルダ] を選択します。
4. [名前] に「*PCI30.INF」と入力します。
(Windows95a の場合は、「OEM*.INF」で行います。)
5. [探す場所] に Windows がインストールされているディレクトリ名を指定します。
6. [検索開始] をクリックします。
7. [RATOCREXPCI30.INF] が表示されたら、ファイルを開いて RATOC System の記述があるか確認します。(Windows95a の場合は、OEMx.INF) 通常「Windows¥inf¥other」にあります。
上記記述がある場合に限り、そのファイルを選択して削除キー (DEL) を押して削除します。上記記述があるファイルが複数の場合、すべてなくなるまで削除します。

以上でドライバの削除は終了です。

不明なデバイスが検出されると表示の場合

Q: スキャナを接続して REX-PCI30L をインストールすると「不明なデバイスが検出されました」と表示してドライバの読み込みが行われません。

A: 「不明なデバイスが検出されました」の表示は REX-PCI30L に対してではなく接続しているスキャナを検出したときに表示されるメッセージです。スキャナに Windows Me/98/95 のドライバ(INF)が添付されている場合は、デバイスドライバウィザードで読み込ませてください。添付されていない場合は、「完了」を押してください。次回からこのメッセージは表示されなくなります。詳しくは、スキャナメーカーにお問い合わせください。

データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりする場合

Q: データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりします。

A: ・ SCSI ケーブルが良質のものか確認してください。

・ ターミネータはアクティブターミネータか確認してください。

・ SCSI ケーブル長が総計 1.5m 以内(Ultra の場合)であるか確認してください。外付けユニット 1 台で約 15cm 使用します。

試しに SCSI 機器の台数を減らしてみるとよいでしょう

・ SCSI 機器台数が多いと自動ターミネータが正しく動作しない場合があります。SCSI コンフィギュレーションユーティリティを実行して手動設定してください。

REX-PCI30L 以外の名称でドライバ登録される場合 (PC98-NX)

Q: ドライバ登録を確認するためにデバイスマネージャをチェックしたが、SCSI デバイスに違う名称 (例: REX-CB30) で登録されてしまいました。

A: PCI DEVICE INFORMATION が同一のため起こります。

一応動作しますが、正式な INF ファイルにて登録してください。

1 つめの方法は、デバイスマネージャから、ドライバの変更を行ってください。

2 つめの方法は、Windows ディレクトリの INF ディレクトリの REXCB30.INF を削除し、デバイスマネージャから REX-CB30 を削除し、更新ボタンを押します。これによりドライバデータベースの更新、および REX-PCI30 の登録が行われます。

3. トラブルシューティング

ドライブが割り当たらない場合

Q1: PC-9821 で使用していたハードディスクを DOS/V(PC98-NX)に接続して使用できません。

Q2: フォーマットユーティリティで再フォーマットを行ったが、ドライブ(ドライブ名)が割り当てられません。どのようにすれば使用できるのでしょうか。

A: DOS/V パソコンでは、PC-9821 形式のハードディスクは扱えません。ハードディスクのフォーマットが必要です。また、初期化を行ったあと、パーティションの作成(区画作成)を行ってください。

ドライバのインストール途中で完了を押してしまった場合

Q: ドライバのインストール途中で「ドライバが見つかりません」と表示したので「完了」を押してしまいました。その後、デバイスドライバウィザードの画面が表示されません。

A: その他のデバイスに登録されています PCI SCSI BUS Controller を選択し、プロパティのドライバ変更を選択します。ハードウェアの選択画面で SCSI コントローラを選択します。Setup CD-ROM をセットしドライバの場所を選択してインストールします。

PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合

Q: ドライバの登録確認のため、デバイスマネージャの画面を表示できません。

A: PC98-NX では、標準で、キッズモードまたはベーシックモードに設定されています。

[プログラム]の[CyberTrio-NX]の[Go To アドバンスモード]を実行してください。

その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合

Q: SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。まだ、ドライバは読み込んでいません。

A: PCI SCSI BUS Controller を選択し、プロパティのドライバ更新を選択します。ハードウェアの選択画面で SCSI コントローラを選択します。Setup CD-ROM をセットしドライバの場所を選択してインストールします。

その他のデバイスに PCI Brige として登録される場合

Q: SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。まだ、ドライバは読み込んでいません。

A: PCI Brige を選択し、削除キーを押してください。

システム再起動により “新しいハードウェア” の画面が表示されます。

後は、マニュアルに記載されたドライバのインストール方法に従ってインストールしてください。

ドライブレターがドライブ Z まですべて HD になる場合

Q: フォーマットユーティリティで SCSI ハードディスクを FAT32 でフォーマットしたところマイコンピュータ上にたくさんのハードディスクアイコンが表示されます。また、それらのドライブは「16bit モードで動作しています。」と表示されます。

A: フォーマットユーティリティの「設定」の項目で、LBN を有効にした状態でフォーマットを行うとこのようになります。

LBN を無効にした状態でフォーマットユーティリティを実行してください。

3. トラブルシューティング

全体的なシステムのパフォーマンスが低下しますと表示される場合

Q: コントロールパネルのシステムのプロパティのパフォーマンスを見ると「全体的なシステムのパフォーマンスが低下します」と表示されているのですがどうしてでしょうか。

A: 16 ビット版 ASPI マネージャが働いているためです。

CONFIG.SYS に登録したままになっています。CONFIG.SYS を編集して ASP3050.SYS をコメントにしてください。

SCSI 機器接続確認で準備ができていませんと表示される

Q: SCSI 機器接続確認ユーティリティにて、接続されている CD-R/RW, MO 等を確認すると、Device Status の欄に「ドライブの準備ができていません」と表示されます。

A: CD-ROM、CD-R/RW、MO 等の場合、メディアが挿入されていないときには、「ドライブの準備ができていません」と表示されます。これで正常です。メディアを装着し、再度画面表示しますと「Ready」となります。

フォーマットユーティリティで CD-R/RW, DVD が認識されない

Q: SCSI フォーマットユーティリティにて、接続されている CD-R/RW, DVD を認識できません。SCSI 機器接続確認ユーティリティでは確認できるのですが。

A: SCSI フォーマットユーティリティは、ハードディスク、MO、PD、リムーバブルディスクを対象としています。CD-ROM、CD-R/RW, DVD は対象としていません。初期化が必要な場合、ドライブメーカーにお問い合わせください。

Windows 98 インストール中にハングアップする場合

Q: 2 回目の再起動で Windows 98 の起動画面が消えたあと左上にカーソルが表示されたままになります。

A: FUJITSU MO(M2512A, M2513A) を接続してある場合起こります。

FUJITSU MO(M2512A, M2513A) の電源を切ってリセットスイッチを押して、パソコンを再起動するとインストールが再開されますのでそのまま続行してください

その他の場合、SCSI 機器を切り離してインストールが可能であれば REX-PCI30L を取り外してインストールを続行してください。

DOS/Windows 3.1 のトラブル

DOS/Windows 3.1 で PD、Changer の一部が認識できない場合

Q: DOS/Windows 3.1 で PD の CD-ROM が使用できない。または Changer の 2 枚目以降が使用できない。

A: ASP3050.SYS 「 /L 」 オプションを付加してください。

640MB の MO アクセスで EXTEND ERROR となる場合

Q: 230MB、540MB の MO をアクセスできるが、640MB の MO のみアクセスすると EXTEND ERROR となります。

A: SMARTDRV が組み込まれている場合、発生します。REXDISK.SYS の制限事項です。SMARTDRV の対象ドライブから MO を除外してください。

3. トラブルシューティング

WindowsXP/2000 トラブルシューティング

WindowsXP/2000 でドライバ更新する場合

Q: インターネット等より、新しいドライバFDを入手したのだが組み込みには？

A: インターネットより REX-PCI30L 用ドライバをダウンロードして REX-PCI30L 用としてそのまま使用します。

ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-PCI30 Setup Disk がダウンロードできているものとして説明します。

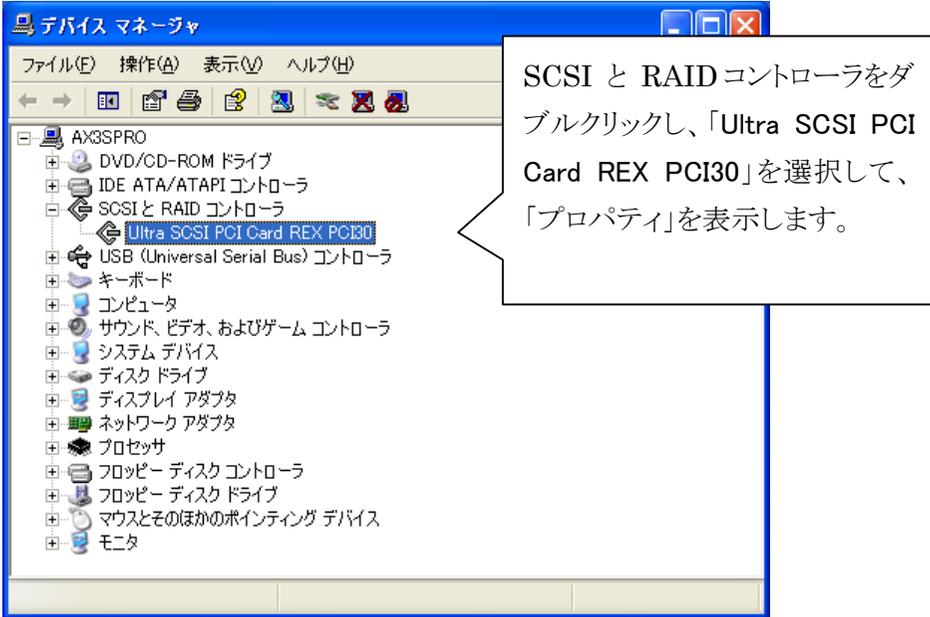
8. DOWNLOAD ディレクトリに PCI30X02.EXE (仮称) があることを確認します。
9. PCI30X02.EXE をダブルクリックして実行します。
10. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
11. PCI30X02.EXE ファイルを削除します。
12. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
13. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
14. DOWNLOAD ディレクトリ内のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX- PCI30L Setup Disk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

新しいバージョンの Setup Disk が完成しました。続いて、次頁以降のドライバの更新を行います。

Windows XP でドライバ更新する場合

アドミニストレータのユーザー権限をもつユーザーでログインします。

1. デバイスマネージャを開きます。



2. ドライバのタグを表示します。



3. トラブルシューティング

3. 「ハードウェアの更新ウィザード」が起動します。

新しい Setup Disk をフロッピーディスクドライブにセットして、「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択します。「次へ」をクリックします。

4. 検索方法を選択します。

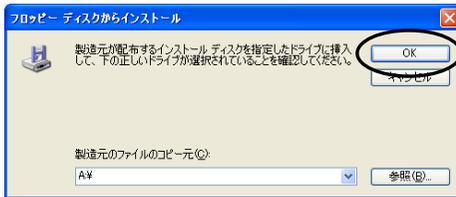
「検索しないで、インストールするドライブを選択する」を選択します。「次へ」をクリックします。

5. 「ディスク使用」をクリックしてください。

ディスク使用(D)

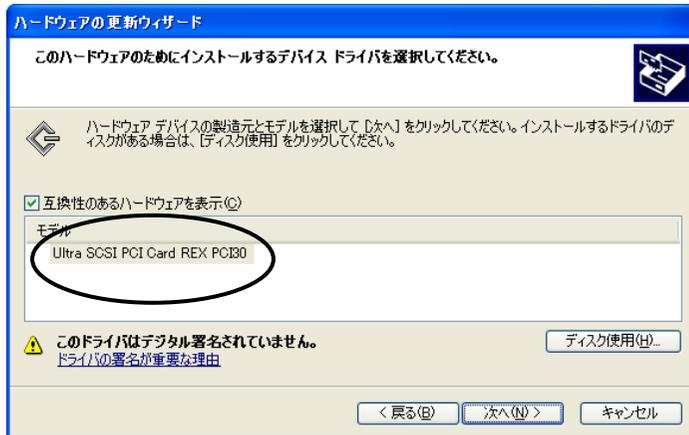
3. トラブルシューティング

6.ファイルのコピー元を入力する画面になります。

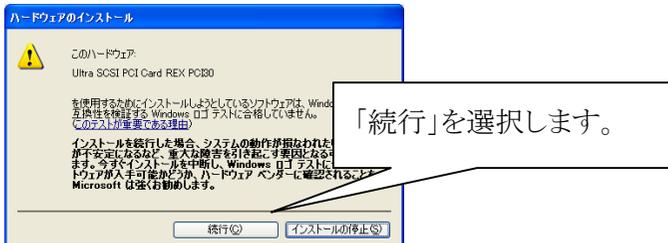


フロッピーディスクドライブを選択します。

7.[Ultra SCSI PCI Card REX PCI30]を選択して、「次へ」をクリックしてください。



8.次のような警告メッセージが表示されます。



9.[完了] をクリックして、Setup Disk を抜いてください。最後に再起動してください。

以上でドライバの更新作業は終了です。

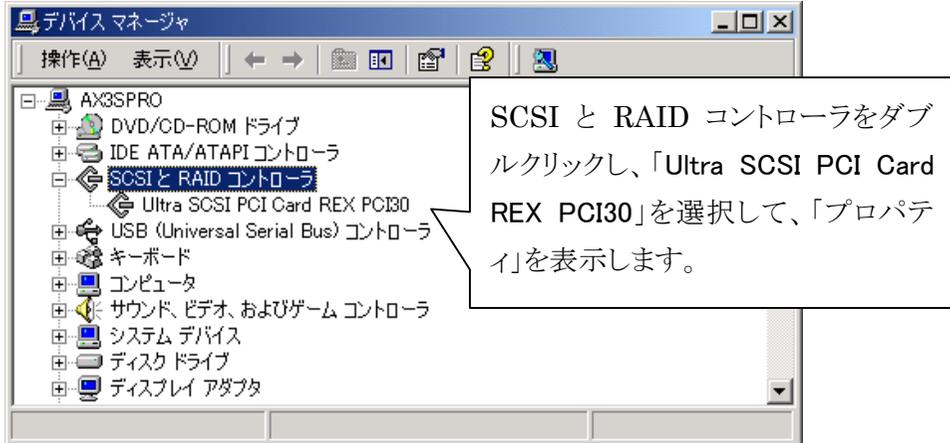


3. トラブルシューティング

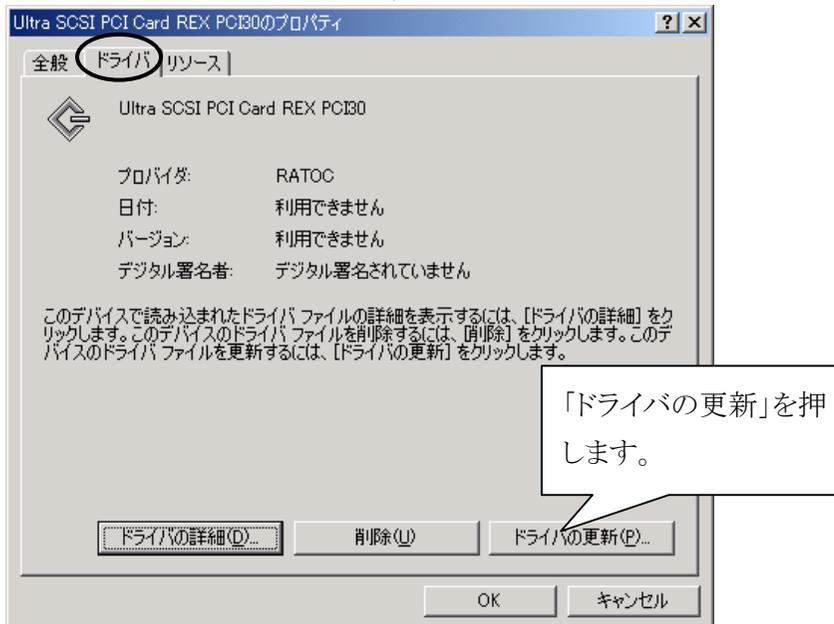
Windows 2000 でドライバ更新する場合

アドミニストレータのユーザー権限をもつユーザーでログインします。

1. デバイスマネージャを開きます。

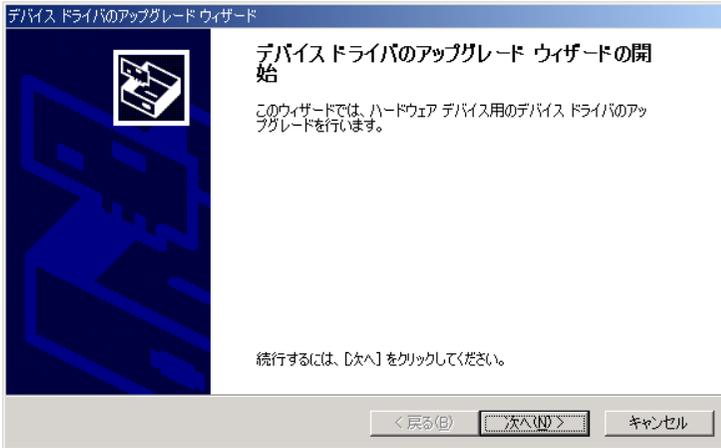


2. ドライバのタグを表示します。

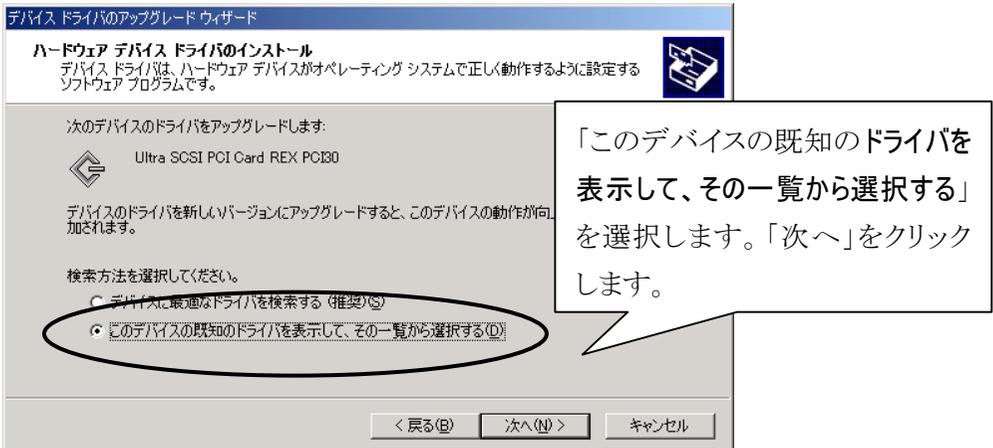


3. トラブルシューティング

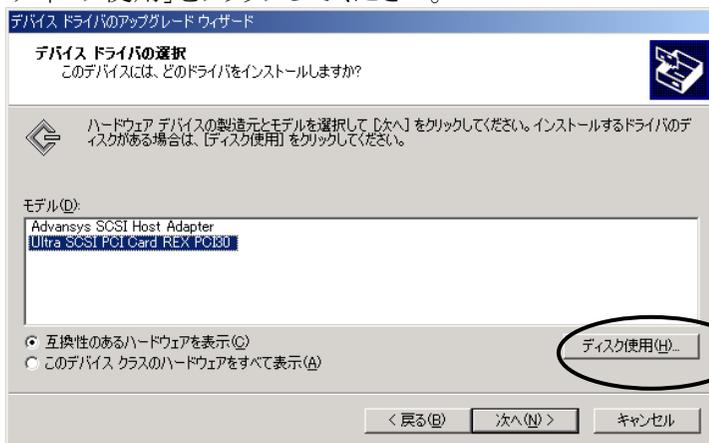
3. 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が起動します。
「次へ」をクリックします。



4. 検索方法を選択します。

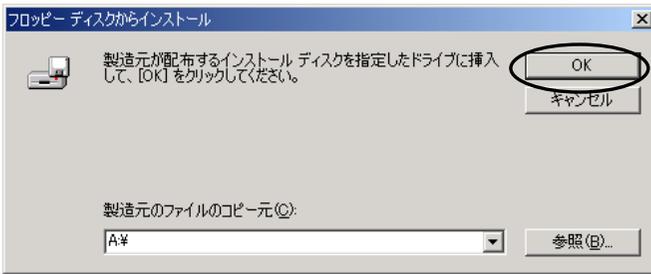


5. 「ディスク使用」をクリックしてください。



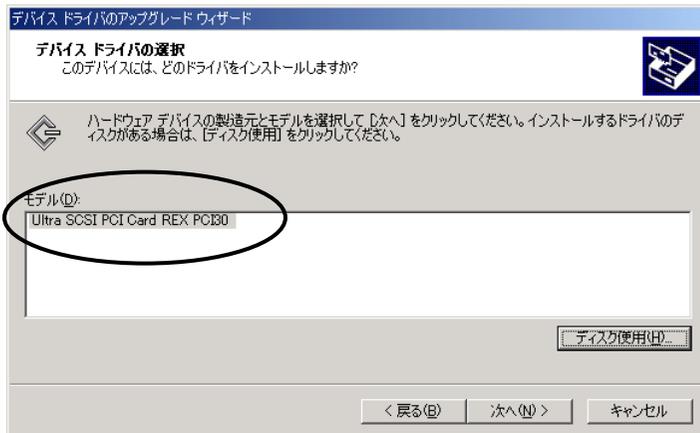
3. トラブルシューティング

6. ファイルのコピー元を入力する画面になります。



フロッピーディスクドライブを選択します。

7. [Ultra SCSI PCI Card REX PCI30]を選択して、「次へ」をクリックしてください。



8. ドライバの開始画面になります。「次へ」をクリックしてください。



3. トラブルシューティング

9. 次のような警告メッセージが表示されます。



10. [完了] をクリックして、Setup Disk を抜いてください。最後に再起動してください。以上でドライバの更新作業は終了です。



3. トラブルシューティング

WindowsXP/2000 ドライバを削除する場合

一度登録したドライバを削除する場合は以下の手順で行います。

この項目は、ドライバを削除する場合のみ行ってください。

以下の2つの作業からなります。

- デバイスツリーからの削除
- INF ファイルの削除

Windows XP/2000 へ Administrator のユーザ権限を持つユーザとしてログインします。

デバイスツリーからの削除

Windows XP/2000 上から[[デバイスマネージャ]を開き、「SCSI と RAID コントローラ」項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[Ultra SCSI PCI Card REX PCI30]項目を選択して[削除]ボタンをクリックします。確認メッセージが表示されますので、[OK]を選択します。

INF ファイルの削除

1. [マイコンピュータ]を開きます。
[ツール] - [フォルダオプション]の[表示]タブを開いて[すべてのファイルとフォルダを表示する]をチェックし、[登録されているファイルの拡張子は表示しない]のチェックを外します。
2. エクスプローラから INF フォルダを開きます。(通常、Windows 2000 の場合は、C:¥WINNT¥INF、Windows XP の場合は、C:¥Windows¥INF にあります)
3. oemX.inf ファイル(X は数字)を検索し、メモ帳などでそれぞれの oemX.inf ファイルを開いて、その内容に PCI30 の記述があるもののみを削除します。
4. また、削除した oemX.inf と拡張子のみが異なる oemX.PNF ファイルも削除してください。

以上でドライバの削除は終了です。

Device のプロパティ - SCSI のプロパティでの設定がきかない

Q: 接続機器の Device のプロパティにある SCSI のプロパティで設定を変更しましたが、動作に反映されていません。

A: Device のプロパティにある SCSI のプロパティで設定を行っても実際の動作には反映されません。

「タグ付きキューを無効にする」および「同期転送を無効にする」の設定は、REX-PC130L 用の SCSI コンフィギュレーションユーティリティを実行して「キューイング」および「転送速度」の項目で設定してください。

スキャナを検出できない場合

Q: スキャナソフトを起動すると、スキャナを検出できないというエラーが表示されて使用できません。

デバイスマネージャから確認するとスキャナは認識できています。

A: Windows XP/2000 用の ASPI マネージャ (WNASPI32) を必要とするスキャナソフトで ASPI マネージャが組み込まれていない場合に発生します。

REX-PC130 には、Windows XP/2000 用の ASPI マネージャを添付しております。、REX-PC130L Setup CD-ROM の [ASPI32] ディレクトリに含まれる WNASPI32.DLL をインストールしてください。

MO/PD でフォーマットが完了しない場合

Q: MO または PD のフォーマットを実行するとフォーマットが完了しません。

A: Windows98/95 上でフォーマットされたメディアを使用する場合に発生します。Windows 2000 上のフォーマット機能は、スーパーフロッピー形式 (Windows98/95 での一般的な形式) には対応していません。

本製品に添付されている Windows98/95 用フォーマットユーティリティを使用して、Windows98/95 上で FDISK 形式でのフォーマットを行うと、Windows2000 上でフォーマット可能となります。

3. トラブルシューティング

Windows NT のトラブル

MO/PD アクセスでパラメタに誤りがありますの場合

Q: MO または PD をアクセスするとパラメタに誤りがありますと表示されます。

A: 以下の手順でフォーマットすることにより回避できます。

1. 管理ツールのディスクアドミニストレータを起動します。
2. MO の領域が " 空き領域 " になっていることを確認します。それを選択します。
3. 「パーティション」「作成」を実行し、作成するパーティションサイズを全領域にします。
4. " 空き領域 " が " 未フォーマット " に変わります。
5. 「パーティション」「今すぐ変更を反映」を実行します。
6. " ディスク構成を変更しました " と表示されたら、「保存しますか」で「はい」を選択。
7. " ディスクは正常に更新されました " と表示されます。
8. 「ツール」「フォーマット」を実行します。「開始」を押します。
9. マイコンピュータからリムーバブルディスクでアクセスが可能になります。

スキャナのユーティリティがスキャナを見つけない場合

Q: SCSI アダプタの一覧からスキャナの型番が参照できるのにスキャナのユーティリティからはスキャナが見つけれません。

A: Windows NT4.0 用の ASPI マネージャ (WNASPI32) を必要とするスキャナソフトで ASPI マネージャが組み込まれていない場合に発生します。

REX-PCI30L には、Windows NT4.0 用の ASPI マネージャを添付しております。

REX-PCI30L Setup CD-ROM の [ASPI32] ディレクトリに含まれる WNASPI32.DLL をインストールしてください。

ドライブ名が割り当たらない場合

Q: RATOC REX-PCI30 NT SCSI HBA Driver の下に OLMPUS MOS341 (例) と表示されているが、マイコンピュータにリムーバブルアイコンが表示されません。

A: D: ドライブに CD-ROM 等のアイコンがあり、それが D: ドライブ固定としてある場合おこります。ドライブ固定の設定を止めるか他のドライブ名を割り当てます。

変更の方法は、ディスクアドミニストレータで CD-ROM を選択状態にして「ドライブ文字の変更」を行います。